



はるか

2023. 春号 №145

花のよう
優しい笑顔で
こんにちは

ビデオにあわせて百歳体操



百歳体操

在宅介護支援センター春賀

矢野光恵

新型コロナの猖獗以来、人と語り合う機会がめっきり少なくなり、高齢者は外出を控え孤独に拍車がかかっています。

平成29年から始まった百歳体操は、途中コロナ禍で休止と再開を繰り返してきましたが、昨年4月から三善公民館との共催で取り組む事になりました。イスに腰をかけて、ビデオに合わせて準備体操から筋力運動を順を追つて行います。

健康な体は、筋肉を作ることから始まります。筋力は何歳になつても付きます。継続することが大切です。

私達は、この集いがコミュニティーの場として広がっていくことを願っています。

障害者支援施設 大洲ホーム便り

ホームページ <http://www.ecomnet.or.jp/~ohzuhome/>
メールアドレス ohzuhome@ecomnet.or.jpコロナクラスターを
経験して

理事長 潟尻 敬治郎

昨年の12月12日

日の夕方、利用者1名が発熱し、

抗原検査をした

ところ陽性反応が出ました。そ

れに伴い、当日出勤の職員も検

査を実施し、スタッフ1名が感

染していることが発覚し、約1ヶ

月もの感染対策が始まりました。

コロナ陽性者が出了ことで、施

設内のゾーニングはもちろん、

ごみの分別、食事の容器も使い

捨てを使用。更にガウン着用、

換気、消毒等を実践し最小限に

食い止めようとスタッフ一同、

奮闘してきた。しかしながら、

翌日には利用者1名、翌々日は

2名が感染。1週間の間で15名

の方々が療養生活となりました。

2週目は3名の利用者が陽性と
なり、少し落ち着き始めましたが
が、一方で職員7名が感染し、
現場は火の車となりました。そ
れを受けて、法人内のディサイバスを休業し、応援要請を行い日
中対応を行いましたが、夜勤帯のス
タッフが手薄となり、残りのスタッフが夜勤専従に回るという形
をとらざるを得ない状態となりま
した。それでも通常の夜勤と異な
り、ガウンの着脱等に時間がかか
ること、ミスをすればさらに感染が増えることを考慮し、夜勤人数
の増員をしたり、勤務時間の変更
(超早出、超遅出)をし、何とか
やりくりをしました。結果として、
利用者20名、職員12名が感染しま
したが、年明けの9日に収束する

ことが出来ました。

この経験から、非常時の勤務体
制を準備しておくこと、事業計画
にも挙げていますが法人間スタッ
フの協力体制をしつかりとしてお
くこと、物品(検査キット、ガウ
ン、利用者用の飲用水 etc.)をしつ
かり確保しておくことが大事だと
痛感しました。

最後になりますが、クラスター

時には利用者の皆様に長期に亘
る隔離生活を余儀なくされ、ご不
便をおかけしたことを反省してい
ます。

利用者作品集

大洲ホーム文芸

俳句の面白さは、自分が見た風景を口調のいい五七五に切り取り、はめ込んで向こうに大きな世界が広がる。



清水先生の俳句教室

君のことやけにちらつく雪の朝

徳山 聰

恋の猫傷ほこらしく帰りきし

平高浩二

立春に長い祝辞が響く部屋

高田栄作

福は内はしゃぐ子供は頼もしい

藤田尚道

始まつた我が家の隅で猫の恋

八雲英雄

暖かい母の手編みの手袋は

泉 美代子

窓の外光まぶしい雪景色

寺田聖子

節分やみんなそろって豆まきだ

島崎公代

あつあつを皆でとり合うすき焼きよ

角石きぬよ

2023年3月



地元生産者さんからさつまいも10キロ購入して自治会の焼き芋イベントを行いました。さつまいもは「安納芋」と「鳴門金時」の2種類があり、それぞれの良さを味わいながら食欲の秋を満喫しました。利用者さんは職員が誤嚥に気をつけながら介助してくれたおかげで笑顔いっぱい食べられていました。

利用者代表 井上 良一

やきいも

るんるんティクアウト

利用者 山田 保

今日は久しぶりにティクアウトを企画しました。みんなで弁当を囲みました。

届けられた弁当には、ハンバーグ、卵やき、えびのてんぷら、黒豆などが入っていておいしかったです。



自治会からは、大洲ホームへボッチャを寄贈し、利用者間の友好の輪を広げたいと思っています。



パラアート

利用者 山田 保

僕は、このたびパラアートの絵を応募して、表彰状を頂きました。



パラアート
「みんなが大賞」受賞

この作品を描くのに1ヶ月かかったので、すごく嬉しかったです。

また作品の募集があれば色々な作品を描いてどんどん応募していきたいと思います。それまでたくさん絵を描き腕を上げたいと思っています。

今後も、一步一步頑張っていきたいと思います。

2月
9日



しまじろ歯科検診

こまどり号の歯科検診車が来園しご利用者の口腔チェックと口腔ケアの指導をしていただきました。
こまどり号とは愛媛県歯科医師会が行なう巡回診療事業で、年に1回大洲ホームに来ていただいています。今回も指導を受けた所をしっかりと意識して日々の口腔ケアに取り組んでいきます。

看護師 山本 紋華

しまじろ歯科来園

祝成人

成人式は「今日から君達は大人だ！」と宣言し、大人扱いをしますよと言う事です。

「大人扱い」とは、個人として尊重することであり、更に解り易く言えば「甘やかさない」ことだ。大人になると言うことは「こころ」の置き場所をきちんとすることだと思う。「心の置き方」とは、その人の「構え」と言うか覚悟です。

顧問 涠尻眞二郎



生活支援員 柳 尚也

私は、1月8日に成人式がありましたが、体調不良により参加することができませんでした。これはこれでいい思い出です。成人式を迎えるということは、大人になるということです。これからは仕事は、責任をもって仕事をし、一個一個丁寧に仕事をしていきます。これからも頑張りますので宜しくお願いします。



生活支援員 福山愛花

20歳になりました。まだまだなれないところもありますので、経験してもっと出来る事を増やしていきたいです。そしてもっと頼られる存在になっていきたいです。

Welcome Baby



命名・聖菜

令和4年10月15日に元気な女の子を出産しました。

きおん介護員 平井 唯

彩り豊かな人生を羽ばたいてほしいと願いを込めて名付きました。
初めての子育てに戸惑いつつも、親としての幸せを噛み締めています。



命名・彩羽

令和4年11月14日
3,244グラムの元気な女の子を出産しました。

大洲ホーム生活支援員 濱田莉佳

よく笑うようになり、元気にすくすくと育っています。健康で素直な優しい子になつてほしいと願っています。

職員紹介



相談支援専門員 樋口圭介
私は相談支援専門員として、主に在宅障害者の方々の支援に携わっています。



事務長 藤原誠人

三善会入社して26年が経ちます。介護職員として入社し、入所・通所の介護業務から相談職、居宅ケアマネ、施設サービス管理責任者、そして現在の事務長と様々な職種を経験し成長させていただきました。今という時、ここという場所に全力を打ち込め”的精神で、利用者、職員、会社、地域が共に発展していく様子に邁進してまいります。

病気や怪我により障害者となられた方からの相談に応じ、利用できる制度のご紹介や福祉用具のご案内、障害福祉サービスについて、アドバイスをさせて頂き、手続きの代行等を行っています。また、施設に入所している障害者からの相談事にも応じており、幅広く皆様の“困りごと”に対応しています。

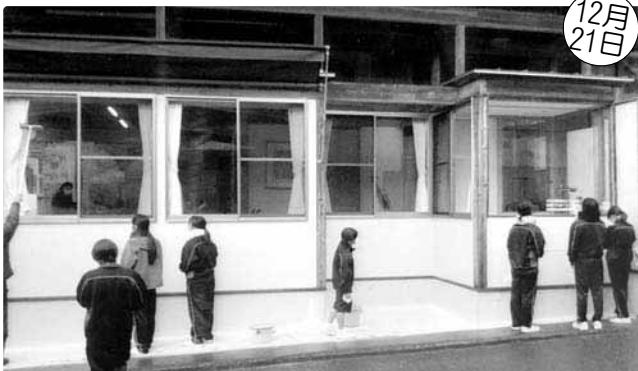
これからも皆様の“困りごと”に素早く対応できる相談支援専門員でありたいと思います。

東中のクリーン活動

サービス管理責任者 城本直也

大洲東中学校の生徒さん有志11名が年末の清掃活動をして頂きました。

12月
21日



東中のクリーン活動

当日は気温も低く、あいにくの小雨でしたが、生徒さん達は窓を拭いたり、サッシを水洗いして頂きました。

今年はコロナで利用者さんとの交流ができず残念でしたが、来年は一緒に活動ができると思っています。

先日は寒い中をありがとうございました。

柚子の収穫

生活支援員 山本祥子

大洲ホーム果樹園の柚子の収穫をみんなで役割を決めて行いました。

今年は裏年で少ない収穫でしたが、初参加の職員はトゲに注意しながら柚子取りを楽しみました。



柚子の収穫

収穫した柚子は、きれいに水洗いして、1個ずつ搾り機にかけたり、ゆず湯にして利用者さんを楽しませます。

大量の柚子は、きれいに水洗いして、ゆず酢を作り冷凍保存しています。

新職員紹介



調理員 西岡秀樹
利用者様が笑顔になれるように、美味しい料理を提供します。趣味は車、バイク等、エンジンが付いているものは全て好きです。



生活支援員 井上翔太
一日も早く利用者様との信頼関係が築けるように、毎日頑張ります。



生活支援員 岡山輝空
中学ではサッカー、高校ではバラを作っていました。よろしくお願ひします。

ぞうきん 雑巾の寄贈

サービス管理責任者 城本直也

三福ホールディングス様より、ぞうきんを寄贈して頂きました。

当日は、大川勢津子様（ていれぎ館支配人）と永田真大様（P・SPO 24湯渡店 店長）のお二人が訪問されました。

三福ホールディングス様は、社会貢献活動の一環としてこういった活動をされています。

頂いたぞうきんは施設の清掃活動に使わせて頂きます。ありがとうございました。



ぞうきんの寄贈

感染症対策

ネット配信座学

サービス管理責任者 城本直也

全事業所対象の感染症に関する研修を行いました。この時期に流行しやすいインフルエンザやノロウイルス、現在も猛威を振るっている新型コロナウイルスなどについて、ネット配信動画を使った座学とガウンテクニックや嘔吐物の処理など、実技も交えながら知識の確認を行いました。

基本的な対策をしっかりと行い施設生活が安全に送れるように引き続き努めていきます。



ネット配信による研修

大洲ホーム厨房職員紹介



調理員 西岡秀樹
皆さんに喜んで頂ける
食作りに励みます。

栄養士 島田洋子
楽しみんなで協力を
提供します。

調理員 福岡さとみ
ご利用者の健康と笑顔
のために頑張ります。

調理員 井上裕美
笑顔になれる食事作り
を致します。

調理員 大内康弘
おいしい食事作りに頑
張ります。

調理員 清水千音
皆さんに喜んで頂ける
よう頑張ります。

ひな祭り

3月3日は雛祭り。天袋に蔵っておいた箱を下ろし、薄紙をそっと除けると十二単のお雛様が現われました。皆で手分けして飾りました。



大洲ホームの雛祭り

節句料理は、厨房十八番のちらし寿司とさくら餅でお節句を祝い記念写真に収めました。
ひなかざ 雛飾る女人の顔の輝けり

利用者 平高浩二

衛生委員会は、三善会グループ10事業所の委員と大野産業医で構成され毎月開催されています。



サービス管理責任者
城本直也

主な活動は、職場巡回報告や産業医による健康指導をはじめ、今年度は社内で取り組める運動について、改正育児・介護休業法、腰痛予防対策について、介護現場の衛生管理など、職場環境についての問題提起や解決策の提案などを行っています。

これらの活動により労働災害の防止や、働きやすい職場環境の整備に繋がればと思つています。

衛生委員会

春賀便り

2023年3月



ヘルパーさん募集

●就業場所 大洲市一円

●仕事の内容

ホームヘルパー(同行訪問を行い、未経験者でも丁寧に教えます。)

●資格要件

ホームヘルパー2級または介護福祉士

●勤務時間

1日2~5時間程度(勤務時間・日数は相談に応じます。)

●時給 生活援助 1,050円
身体介護 1,400円

●その他事務手当 1件100円
土・日・祝日の勤務手当有
介護福祉士の資格手当有

●訪問ケアステーション春賀
受付電話 23-9977
担当 大西

お誕生日プレゼント

「訪問ケアステーション春賀」は介護を必要とする地域の高齢者の食事・入浴・排泄等の介護サービスを行っています。



私達ホームヘルパーは、日頃の感謝の気持ちを込めてご利用者の皆様に「お誕生日プレゼント」をお届けしています。

介護を必要とする高齢者の皆様が、住み慣れた自宅で介護サービスを気軽に利用して頂けるよう努めて参ります。

新職員紹介



ホームヘルパー
森本由美子

スや判断したこと行動すべてに責任を持つ必要があります。利用者様一人ひとりにより添つたケアを行い、1日も早く顔と名前を覚えていただけるよう努めさせていただけます。

ぎおん便り

ぎおんの豆まき

作業療法士 永沼 綾

2月3日は節分の日です。ティブルの上に赤鬼・青鬼の紙人形を並べ、豆に見立てるボールを投げつけて鬼を倒します。



ぎおんの豆まき

次々に倒される鬼を見て鬼は外！利用者さんは暫し童心に返り笑顔が見られました。

豆に見立てたボールは、利用者さんと一緒に作り、大小さまざまなボール豆ができました。鬼退治も終わり、ぎおんに福がきました。

節分祭東北東を恵方とし

ぎおんのクリスマス会

サブリーダー 長壁 新

コロナ禍で人と人が集まりにくくなり、当たり前だった生活が遠くなっています。私達は、コロナ対策をしっかりやって、利用者の皆さんに暮れのひとときを楽しんでもらおうと、3組に分けてクリスマス会を企画しました。

二度と来ぬ一會の日々を慈しむ



クリスマスにちなんだ職員
喜ばれました！
手作りの紙芝居を披露して

研修会

オンライン研修会

サブリーダー 長壁 新

オンラインによるリモートでユニットケアのリーダー研修が行われ参加しました。



研修会
オンラインによる

ユニットケアのポイントを色々な側面より学ばせて頂きました。昨年より開設した「ぎおん」の入居者様が、より豊かな暮らしが送れる様に努めて参ります。

ユニットリーダー研修会

ユニットリーダー 檜田 ちひろ

ユニットリーダー研修会が特別養護老人ホーム絆の広場（高知市）で開催され参加しました。

研修では「24時間軸シート」が紹介され、利用者の処遇が一目でわかるように工夫されていて参考になりました。

投薬は誤薬防止のために二人一組とし、処遇マニュアルは地方言葉で記録されていました。

今回の研修で得た良いところをぎおんの職場でも活用したいと思います。

ぎおん新職員紹介

岩津由久子
パート勤務正看護師



て
い
ま
す。
護
員
に
り
た
い
と
思
つ
利
用
者
さ
ん
に
い
つ
も
笑
顔
で
対
応
可
能
い
介



山本エリカ

春賀便り

新春カルタ取り

介護員 谷口 瑞穂

昔のお正月遊びは、カルタ取りや

羽子板遊びが主流でした。

今週はご利用者の皆さんに暫し童心に返って頂き、新春カルタ取りを行いました。



新春カルタ取り

利用者さんは、読み上げる百人一首の一聲に素早く反応して「あつた！」とお手玉をカルタに投げ付けます。 「私が取った！」と弾んだ声が飛び交いました。

クリスマス会

介護員 谷口 瑞穂

今年のクリスマス会は、職員のギター演奏にあわせてクリスマスソングを歌いました。手には鈴を、沢山の鈴の音が響きました。「クリスマスの音楽が流れるだけで心が弾みます。」クリスマス会の中でも一番の盛り上がりをみせたのはプレゼント抽選会。「ありがとう！」の声と共に笑顔が素敵でした。



デイサービスのクリスマス会

個別機能訓練

理学療法士 大山秀樹

デイサービスセンター春賀では個別機能訓練を行っています。この訓練では利用者様に必要と思われるメニューを理学療法士が考え、利用者さんに個別指導を行います。



利用者さんは、この立位バランス訓練で、バランスをとる力をつけます。

利用者さんはお手玉を狙つた籠に入れる立位バランス訓練をしているところです。

大洲ホームの果樹園の一角に、バレーボールほどもある「晩白柚」が黄色く色付きました。渕尻顧問さんが6年ほど前に九州から苗木を取り寄せ植樹されました。「どんな味なんじやろか?」利用者さんのリクエストに応えて試食しました。



「晩白柚」です

新職員紹介

曾我久美
デイサービスセンター春賀
厨房パート

酸味の少ない、さっぱり感のみかんでした。蜂蜜を掛けるとよりおいしく頂けます。

新職員紹介
曾我久美 デイサービスセンター春賀 厨房パート

介護員 山本太紀

晩白柚の試食

はるか便り

2023年春号

はるかのお正月

介護員 好崎貴秀

今年は十二支の第四卯年、うさぎさんです。利用者さんは揃ってお元気に新年を迎える、お正月の風景を写真におさめました。



はるかのお正月風景

穏やかに老いて集いの初笑
おひるは豪華なおせち料理に舌鼓
初笑いゲームを楽しまれました。

惣食作り

介護員 平岡喜代美

寒くなると温まる物がいいかなと、北海道の温かホワイトシチューと、はんぺん肉巻き作りに挑戦しました。ホワイトシチューは初めて作るメニューでした。

ホワイトシチューと
はんぺんの肉巻き

デザートには、ご家族からの差し入れ「完熟柿」を添えて喜ばれました。

火災はあつてはならないが備え
は大事です。一人一人が気をつけて火災を出さないようにしま
しょう。

避難訓練



はるかのクリスマス会

介護員 水井みえ子

クリスマスはキリストが生まれた日を祝う祭りで12月25日（カトリック教会）と旧暦の1月7日（正教会）に行われますが、はるかのクリスマス会はコロナ感染に気配りして「♪ジングルベルの歌」から始まりました。



メリークリスマス！

利用者さんは、職員手作りの演じ物や、コーヒーとケーキで楽しんで頂きました。

12月
9日

避難訓練

介護員 宗金清一

隣接のデイサービスと合同で避難訓練を行いました。この時期は、空気が乾燥し火災が起こり易く、また、火を使う事が多くなります。消防署の方に来て頂き、消火器の使用方法を教えて頂きました。

春の風便り

春の風のお正月

介護員 浅井佑輔

門松、締め縄、鏡餅とお正月の話
に花が咲きました。



お正月を迎えて

今から30年ほど前に、百歳の双子姉妹のきんさん、ぎんさんが国民的なアイドルとなり百歳は珍しい存在でした。今では人生百年時代で誰もが生きられる時代となりました。

正月や雲の晴れ間の山桜む

今年も皆さんが笑顔で暮らせるお手伝いをさせて頂きます。

2023年3月

創作活動

介護員 富永貴子

玄関に飾る壁面作りです。今回は絵の具を使って、山と空をぬって頂きました。「きれいな色やねー。」と言われながら手を動かされていました。



お誕生日

介護員 高月功輔

11月に伊藤様と中岡様と徳田様が誕生日を迎えられました。当日に皆でお祝いをしました。これからも穏やかに過ごして頂けたらと思います。



利用者さんは「いっぱいに春が来たようじゃ！」大変喜ばれました。
「なかよしの花」は、大洲人材啓発ネットワーク協議会のキヤンペーンとして、長浜小学校が取り組んでおられます。



長浜小学校の生徒さんが「なかよしの花」をプレゼントして頂きました。

「なかよしの花」
プレゼント

所長 徳森利弘

リレー随想

岡田さん家の 食事事情



介護員 岡田亜希

母親になり

15年。子供4

人となり賑や

かな我が家。

仕事から帰れば「ご飯何」お

帰りではない。食事の匂いを

嗅ぎつけては食卓に集まる。

味わって食べてと思うが食欲

旺盛の子供達には無理なお話。

皆で囲む食卓にいただきます。

ごちそう様と笑顔で食べてく

れる子供達がいてくれる毎日

が幸せなのだと日々感じる。

1キロのから揚げ、ハンバー

グも今だけなどと、楽しみ

ながら食事を作ろうと思う。

子供達の幸せな顔を見るため

に、母は頑張ります。

御厚意に感謝します

【1月～3月】

- 角石高春様（八幡浜市）
- 曽根紀子様（大洲市）
- 下崎一様（大洲市）
- 村上浩三様（八幡浜市）
- 塚原牧子様（兵庫県伊方町）
- 竹内カメ子様（伊方町）

【順不同】

ひと言…

大洲ホームの料理自慢

華

調理員 西岡秀樹

「皿の上に立体的に絵を書くつもりで盛り付けろ！
それだけで美味しい感じもらえる。」

これは私の師であり、最も尊敬する人に教わった事であり、私の信念の一つです。



西岡調理員の作品「華」

日々、利用者さんの喜ばれる顔を想像しながら調理に励みます。

編
集
後
記

伸びる日脚と共に、新たな季節のサイクルの起動を感じる頃となりました。

三寒と四温の風の 気まぐれと

本号は冬から春にかけての暮らしの一端を切り取って編集しました。

今回も多くの方々のご投稿を頂き発刊することができました。

ご協力に感謝します。